



令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【誠意小学校】
氏名【池田 暁紀】

(現地小学校訪問)

この研修でぼくたちは、文登路小学校と、城陽区第二
実験小学校の二校を訪問しました。生徒の出し物ほと
ても迫力あるものでした。特に、いよいよ拳法、琴の演
奏は、小学生の技とは思えないほどすごかったです。そして、
城陽区第二小学校の人たちは、ぼくたちのパプリカダン
スも、いっしょにおどってくれました。その時は、くは「楽しい、これが
交流か。」と思いましたが、言葉はちがっても分かり合えた気がしました。

(青島日本人学校訪問)

この青島日本人学校は、青島市に住んでいる日本人の
ためにある学校です。この学校は創立16周年の新しい
学校で、設備もすごいです。屋内プールや武道場、青島資料室
もあり、日本にはないものばかりです。校門には敬言備員が安全を守
っています。ぼくたちが到着すると生徒の皆さんは温かいはく手でむかえられ
とても立派なかんげい式と出し物をひろってくれました。その後、日本人学校の
六年生と交流しました。日本人なので話して友達になったりして楽しいひと
時でした。ゲームをした後は、国際関係の事を発表しあいました。でも
すぐ別れる時が来て、さびしい気持ちになりました。



(在青島日本国総領事館)

次は在青島日本国総領事館です。ここは青島市に在る日本人のための市役所の様な所です。例えば日本人の安全確保や、パスポートの発行や更新、中国人へのビザの発行をしたり他にも日本文化のよふかいや日本の企業のサポートなどをしているそうです。この職員さんは全員で26名です。その内4人が中国人で12人が日本人です。いっしょに仲良く働いて、とても楽しい仕事とおっしゃっていました。ぼくもこの領事館で働いたら楽しそうだな。と思っていました。この表敬訪問のおかげでぼくは外交関係に興味を持ちました。

(まとめ)

この研修では行く前に言っていた「言葉のかべをのりこえ交流する」ということが出来たと思います。ダンスをいっしょにおどっていたときぼくたちみんなが今うつながって一つになでダンスをしているんだとうれしくなりました。ぼくはこの研修で「交流」という言葉の本当の意味を体で感じてつかめたように思います。金嶋校長先生が言われていたように世界の人がみんなが海外への先入観をなくしていけばだんだん外交関係が深まり、わかり合えて、戦争もなくなつて、世界平和がおとずれるのではないのでしょうか。これからもうチャンスがあれば、いろいろな所に行ってみたいです。





令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【下関市立 川中西小学校】

氏名【宇熊 大智】

現地の小学校と交流 してみよ

文登路小学校では

最初に出むかえをしてくれたことがうれしかったです。それに荷物まで持ってくれたのでもとても親せつだなと思います。中国のトがやさしい印象に変わりました。そして、それぞれ



の出し物で、一番印象に残ったのがお茶の出し物です。たまたまお茶を注ぐのはなとておどろいてから注いちゃったのですかたです。それに、そのお茶がすごくおいしかったです。そして、ほくたろの出し物のクイズを中国語で言ったので、伝わりかどうが



最初、心配しましたが、ちゃんと答を出してくれたので、安心しました。



この学校は、どうげりか、見たことのない機械を使う授業があったので、とても興味があきこの学校に通ってみたいになりました。

日本人学校では、
 笑顔で自己紹介
 がいや交流をしてくれた
 ので嬉しかったです。
 日本人学校の人たちはと
 もかもしろくて、楽しかったです。
 青島のパンフレットを持
 つて、ぼくの知らない



青島のことがあったので、
 うれしかったです。日本人学校では
 室内プールなので、
 暖かかったです。でも冬はと
 も寒いので室内プールでも入
 りました。



図書室では、日本で有名な「
 きた。この学校は、全学年が仲良
 第二実験小学校では、カンフー
 授業がありました。合唱、演劇、
 ダンスの授業を見学しました。特
 にダンスは、難しい動きがあ
 ったので感動しました。

交流の時では、言葉は通じな
 かったけども気持ちや表情で伝
 わったのでうれしかったです。
 プレゼント交換では、とても
 素敵なものをもったので良
 いお土産になりました。大切
 にしようと思いました。
 とても明るくてやさしい
 小学校だと思いました。



欢迎日本下关市小学生访问团在青岛市城阳区第二实验小学参观访问



1 青島極地海洋世界 (水族館)



★ ここは、1934年今から約80年前にできた、青島でも有名な水族館。

← 日本の水族館よりもはくかがあり、スケールが大きかった。

2 青島婦人児童活動センターでの文化交流

中国に来て、初めての交流は、少しどきどきした。相手がわの子供たちはとてもおたやかできやすい子たちだった。

この交流では、おたがいの出し物を見せ合った。中国の子供たちの(民族)おどりを交流の中で体験させてもらった。バレエを習っている私でも難しく、中国の子供たちはすごいなと感じた。その後のプレゼント交かんでは、わたした相手の子と少し仲良くなれた。



3 青島市内見学

観光めい所で有名な「五四広場」
にいった。実際みると、とても大きくて、おどろいた。 (その他)



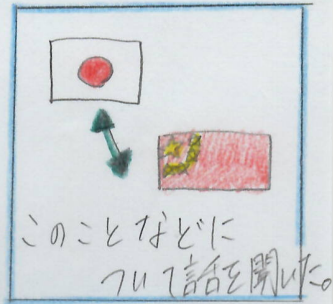
4 在青島日本国総領事館訪問

例えば今年で中国と日本は姉妹とし40周年。(など)



ここでは、質問に対しての応答をたくさん聞いた。まず、おどろいたことは、日本人のための安全や情報をたくさん管理していることだ。次は、この建物じたいに入るのに安全管理がすごくしてあったことだ。

5 青島市教育局訪問

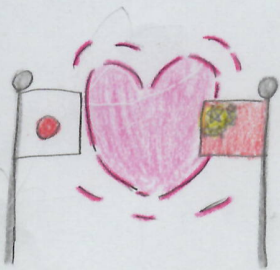


ここでは、おもに、青島の教育きかんなどについて話を聞いた。その中でも、一番知りたかった、青島の人口は日本の約35倍もいるということを知ることができた。

6 文登路小学校訪問

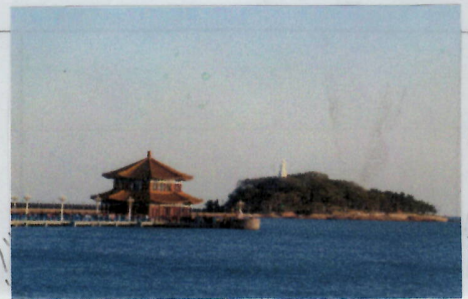


2回目の交流をした。1回目よりもうきうきしていた。ここでは、出し物をだしあい、最後にはとう芸の体験をした。とう芸の体験の前に校内を回ったとき、日本の小学校よりも、技術が凝っているなと感じた。その後のとう芸では、小学校の子供達におしえてもらいながら上手なのを完成させることができた。ここで、名前をおしえあったり、写真をとったりしてとても良い交流ができた。



7 棧橋視察

渡っているときは、とても寒く、おくの建物を見るまでに、時間がかかった。



とおくからみるよりも、おのくがよかった。

8 青島日本人学校訪問

青島に住んでいる日本人の子供達は、ほとんど日本の小学生がやっていることと、変わらなかった。また、六年生(相手側の)と交流したときおどろいたことベスト3がよくにているよかんできた。



9 軌交産業モデルエリア技術館 & オアワソース見学

ここでは、VRで未来の交通のことを学べたりした。また、学んだ中で一番おどろいたことは、中国の電車60%がじょうよう区という所の車だということ。普段きかないことや初めて中国の車などについて知れた。

ここでは、普段口にしているオアワソースの原リょうや中国ならではの作り方をみた。久しぶりの日本食『お好み焼き』を食べた。とてもおいしく感じた。



小学校



10 最後の交流...城陽区第二実験小学校

ここでは、3000人以上の小学生がいるので、たくさんさんのクラブのようなものがあった。(日本と似ているものも含めた)
また、交流では、少し仲良くなれた子と住戸所を交かんした。一番よい交流だと思った。

まとめ

この交流を通して、実際に体感しないとあじわえないことをたくさん経験した。そして、この後の生活や学習に役立て、このことをもっとたくさんの人に伝えようと思った。5日間とてもよい経験になった。



おいしかった中国の料理



(少し仲良くなった中国の子)

また、中国の料理もおいしいのがたくさんあった。そして、ショッピングモールなど、日本と同じところがたくさんあったりと、おどろいたことが(たくさん)あった。この経験またいつか生かしたいなと思った。

令和元年度 小学生 中国派遣研修レポート

所属校
〔下関市立滝部小学校〕

氏名
〔小林 秋子〕

○日本と中国のちがいの

～中国の水について～

中国の水道の水は、飲むことができません。

それは、日本の水とちがって硬水でマグネシウムなどを多く含んでいるからです。実際にじゃ口をひねって、出てきた水は、鉄がサビたようなにおいでした。

～中国のお金について～

中国のお金は、硬貨などが少なくお札がメインです。

一元は、日本円で約15～16円です。

他には、あまり使われていない1角などがあります。計算がとても難しいです。

～中国の乗り物～

中国のバス、タクシー、地下鉄は、とても安いです。バスは、1路線1元で乗り心地は、日本のバスとちがってシートが硬くて、ゆれやすいです。

～気温について～

中国の気温は、日本とあまり変わらないと聞いていましたが、行って見ると海が近いからなのか風が強くて、少しはだざおく感じました。

○青島について

～青島ビール～

青島ビールは、世界70ヶ国以上に出荷されています。
世界的ブランドで、ノンアルコールや黒ビールなど、多くの
製品が発売されています。

～青島の海鮮～

青島には、海があるので海鮮がよく食べられます。
特に、「あさり」は辛口で作られています。
食べてみると、とても辛かったです。

○青島のシンボル

～五四広場～

この建造物は、高さ30メートル、
直径27メートルで、五四
運動勃発の導火線を象
徴してるらしいです。

五四運動が、5月4日に
起きたから五四広場
なんだそうです。



↑五四広場



↑ 栈橋

～栈橋～

青島のある中心にある栈橋 1891年に
作られ当初は、軍専用のもので
した。長さは、400メートルある
ので海をゆっくり見ることが
できます。

栈橋は、青島ビールのロゴに
もなっているほど有名です。

○最後に○

私は、この中国派遣研修で自分たち日本の文化と中国の文化が以ているようで少しちがうことが分かりました。そして、「言葉がたとえ通じなくても心は通じ合うことができる」ということも分かりました。



令和元年度 小学生中国派遣研修レポート

所属校【**檜崎小学校**】
氏名【**友村 和佳**】

① 食事

中華料理が多く、日本で食べる物や、あまり見ない、食べたことのない物が多かった。不思議な味がする食べ物がたくさんあった。



※「日目の夕食」
「船歌魚水餃」

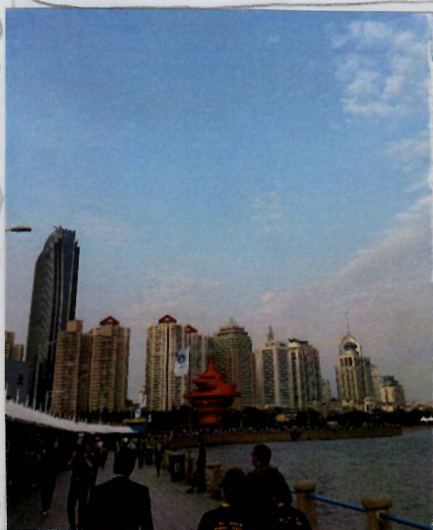
感想①

中国へ行って、中国へのイメージがずいぶん変わった。しかも、自分だけでなく、学校のみんなに知ってもらったと思う。学校の方からもらったプレゼントや資料・写真をもていくと、「中国って思ったのとちがう〜」という声が出たのでとてもよかった。ここで自分が考えたことだけで決めつけるのではなく、自分で確かめることが大切だなと思った。

② 街並み

思っていたよりビルが多く、車もたくさん走っていて、地下鉄やバスなど、人が利用する乗り物・建物がたくさんあった。(建物=ホテル・アパート・お店など)

青島のさんとうしょうというところの人口は約1億人でかんとうしょうも1億人以上だった。



文登路小学校

街並み

③ 婦人活動センター

中国の伝統的なおどりを見せていただいた。歌声はとてもきれいで、おどりはとてもはなやかだった。日本とは違った文化が見られて、勉強になった。

④ 文登路小学校

日本の学校とは全くちがう校内になっていた。交流では英単語とジェスチャーで伝わった。校内は、とうげい室や習字室?みたいな部屋があって、とても技術の進んだ学校だった。

⑤ 日本人学校

この学校は、東京や大阪、かご島から来た子などがいた。青島にいる期間はみんならが、て、ようち園からの子や、今年の4月に来た子もいた。日本の教科書・本で、たくさんのことを勉強している様子がうかがえた。



← 授業のようす。日本と教科書は同じで、図書などの本も日本の本にしている。

日本人学校のマ校舎のようす。きれいな絵がかかれていた。



感想②

交流では、言葉が通じなくて困った時があたけれど、自分なりにがんばって伝えられたから良かった。私の学校と青島の学校の技術は全然ちがったから、青島の学校へ、1日くらい授業をうけたりしてみたかった。とても良い交流となった。

⑥ 城陽区第二 実験小学校

ここではおことやダンス・げきなど、たくさんのことをしていた。出し物のパプリカの時では、いっしょにおどってくれてとてもうれしかった。ここで、みんな楽しく交流できたなと思う。



← おことをひいている。とてもみんながそろった音を出していた。

げきをしている。いっしょがとてもはなやかだった。



← この子たちといっしょにパプリカをおどった。とてもはく力のあるダンスを見せていただいた。えんぎがすばらしかった。

⑦ 青島について(1)

都市=4つ、民族=56つ
道路の名前は、中国の地名になっている。
青島の人、自転車あまり使わない
↑(もともと昔からあまり使っていなかった)

⑧ 青島について(2)

ナンバープレートは、
大型車=黄色 電気自動車=緑
けいさつ、へいたい(大型でも小型でも)白
小型(ふつう車)青
タクシー、バス、地下鉄などが多い。また、建物(ビル、ホテル、お店)がたくさんある。